

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 こどもサポート教室クラ・ゼミ札幌旭ヶ丘校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・指定基準上問題なし。法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・指定基準上問題なし。 法令で必要とされている配置数に加えて、保育士または児童指導員を 1 名以上配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・バリアフリー化とは現状なっていない。通所児童は重度心身障害児以外となる為。・色テープ等を貼って仕切り工夫している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・月 1 回療育の入っていない時間での会議を主として行っている。・状況により職員間での共通認識をする為の話し合い時間もあり。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・会議を行い急務とすべき点に関しては即時改善とする。・定期的なアンケート、イベント終了後のアンケートを行い次期改善へと繋げる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価に関してはクラ・ゼミ HP の校舎案内にて掲載させて頂いています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第 3 者の評価は現在受けていない。・基幹事業所の参入も検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・系列として「発達支援研究所」を設立、運営している。・内部研修は行っても外部研修の参加が少なかった。要改善。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・職員間での情報共有を行った上での会議を行っている。・計画期間ごとにアセスメントを行ったうえで個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・心理検査結果を確認しながら療育を進める。・定期的に児の育みを確認しながら適応行動の分析に繋げている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・できる限り一人の指導員が抱え込まない体制で運営している。・立案の際、職員間での共通認識としています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・できる限り一人の指導員が抱え込まない体制で運営している。・興味関心の高い内容を盛り込んで療育に反映させて頂きます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・保護者のニーズ、児童の現状を踏まえて課題設定をして支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童の強みをみつけ、その強みを発揮しながら課題に向き合える支援計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・会議での打合せが行えない際には社内チャットを利用して情報共有に努める。・朝礼、療育時間準備前等、日次で実施。職員間での情報共有を行っています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・社内チャットを利用して情報共有に努める。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を見直すことで児童の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・職員間での情報共有をして必要であれば計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・児童の状況を確認しながらメリハリのある活動をしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			・担当者会議に出席しやすいように代替担当指導員でも受け持つことができる環境を作っている。・児童との関わりがもっとも高い指導員を優先的に参加できる環境を作り参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者の要望を最優先項として行っている。現在クラ・ゼミ旭ヶ丘校では送迎サービスは行っていない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—			対象外
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・保護者の要望によって情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—			移行児童実績なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—			・可能な限り時間を調整して研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・運営母体との検討議題とします。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・可能な限り時間を調整して研修に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・状況によって電話での定期的な連絡も行っています。・療育後のフィードバック時に確認しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・ペアレントトレーニングを実施できる職員が現状不在。体制を整えて今後の実施を検討。
保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・問い合わせがあった際はすぐに回答できるような体制を整えている。・運営規定、利用者負担額等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内において重要事項説明書類を掲示しています。

への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・重要項については指導報告書等に詳細を記載する。・支援後のフィードバックにて丁寧に説明させて頂いています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△			・本年度は一度開催。 ・今後は定期的に開催できるように要改善。
非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・最優先項として対応、整備、行動をしている。・職員間で会議を開き、迅速な対応を心掛け運営をしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・HPの公開、元氣サーチ、ワムネット、リタリコ等に登録公開中。・2週間に一度必ず、ブログにてイベントの様子や療育状況等を発信しています。今後も継続しつつより良き情報を提供致します。自己評価に関してはクラ・ゼミHPの校舎案内にて掲載させて頂いています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・細心の注意を払いつつ職員間の共通認識としています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・児童、保護者の行動や言動など細かに注意を払い職員間で分析。・細心の注意を払いつつ対応。保護者への会話の機会を大切にして対応。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・現状の運営状況では厳しい点多々あり。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△			・契約時に災害発生時の避難場所、対応等の補足資料を配布している。・感染症対策のマニュアルはあるものの発生を想定した訓練の実施が必要。要改善。
非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・インターネット動画、市の防災訓練マニュアル、地域の防災訓練への参加等を行っている。・地震・爆発・水害・台風・竜巻・不審者等の防災訓練を主に行っています。感染症対策は現状行っていないので今後取り組んでいきたいと思えます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・市が主催する虐待防止の全体会の資料を開示。・年に1度、札幌地区のグループにおいて研修を開催。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束が起こるような運営状況には契約の段階からしていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食物アレルギー以外のアレルギーに関しても聴取、対応。・契約時にアレルギーについての確認あり、アレルギーのある児童に対しては保護者への聴取を実施。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・社内HPにて全国のヒヤリハット集を作成、公開して共有している。・事業所内にてファイリングして共有。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 1月 26日

事業所名 こどもサポート教室クラ・ゼミ札幌旭ヶ丘校 保護者等数（児童数）34 回収数 11 割合 30.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	4	0	・法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2	0	法令で必要とされている配置数に加えて、保育士または児童指導員を1名以上配置しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	5	2	・重度心身障害児の利用事業所ではないので現状の運営体制ではバリアフリー化の予定はなし。但し今後の運営状況によっては改善もあり。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	11	0	0	・今後もしっかりと計画立案をさせていただきます。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	9	2	0	・興味関心の高い内容を盛り込んで療育に反映させていただきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	7	・組織としては交流の機会を現段階では設けておらず今後、要改善項です。 ・地域でのイベントに児童と参加する事で連携の機会を増やしていきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	・今後も丁寧な説明を心掛け運営させていただきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	0	・今後も丁寧な説明を心掛け運営させていただきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2	1	・基本、支援後のフィードバックに説明させて頂いています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	4	・昨年度は1度開催させていただきました。次年度は交流の機会を増やして良き運営を考えて行きます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	5	0	・今後も丁寧な説明を心掛け運営させていただきます。周知・説明に関しては外部ツールを使用して発信力を高めて行きます。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2	0	・来所頂く機会の少ない保護者へは電話にて定期的に連絡して対応させて頂いています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3	0	・2週間に一度必ず、ブログにてイベントの様子や療育状況等を発信しています。今後も継続しつつより良き情報を提供致します。自己評価に関してはクラ・ゼミ HP の校舎案内にて掲載させて頂いています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	1	1	・細心の注意を払いつつ職員間の共通認識とします。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4	0	・職員間での訓練は毎月行っていますが、利用児童を含めた訓練を行っていません。次年度中には開催できるように改善します。・防災に関する意識を高める為、イベント週間などを設けて療育の一環として実施を検討します。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	5	0	・地震・爆発・水害・台風・竜巻・不審者等の防災訓練を主に行っています。感染症対策は現状行っていないので今後取り組んでいきたいと思っています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1	0	・事業所を児にとつての大切な居場所として捉えられるように楽しい環境作りを今後も継続していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11	0	0	・より一層の努力をしつつ今に誇る事のなきように運営を続けて行こうと思います。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。